

## 資格取得を目指す際の履修の留意点について

アスレティックトレーナー、健康運動指導士、トレーニング指導者、教員免許の資格取得を検討している学生は、以下を参照し、履修の参考にしうえて、1年次から計画的な履修を行うよう心がけてください。推奨年次はあくまでも「推奨」ですので、時間割の都合上、他の年次に履修せざるを得ない状況も想定されます。

なお、各資格の概要については、履修の手引きやガイダンスで確認してください。

### 1 アスレティックトレーナー

アスレティックトレーナー受験資格取得に必要な科目は以下のとおりです。

科目名	単位	配当年次	推奨履修年次
機能解剖学 A	2	1	1年次
機能解剖学 B	2	1～4	1年次
スポーツトレーニング論Ⅱ	2	1～4	1年次
運動療法総論	2	1～4	1年次
アスレティックトレーナー概論	2	1～4	1年次
スポーツ栄養学	2	2～4	2年次
スポーツバイオメカニクス	2	2～4	2年次
スポーツ心理学 B	2	2～4	2年次
体力測定・評価論	2	2～4	2年次
スポーツリスクマネジメント	2	2～4	2年次
スポーツコンディショニング論Ⅱ	2	2～4	2年次
体力測定・評価実習	1	2～4	2年次
テーピング・コンディショニング指導論Ⅰ	1	2～4	2年次
テーピング・コンディショニング指導論Ⅱ	2	2～4	2年次
スポーツ医学 A	2	3～4	3年次
スポーツ医学 B	2	3～4	3年次
生活習慣病と身体活動	2	3～4	3年次
運動生理学	2	3～4	3年次
アスレティックリハビリテーションⅠ	2	3～4	3年次
アスレティックリハビリテーションⅡ	2	3～4	3年次
スポーツ現場実習 A ※	4	3～4	3年次
スポーツ現場実習 B ※	4	3～4	3年次

※スポーツ現場実習については、A もしくは B を履修する必要があります。また、別途単位修得以外に、現場実習を行う必要があります。詳細はガイダンスにて案内いたします。

※上記単位修得に加え、スポーツ指導者基礎資格の取得も必要です

### 教員からのアドバイス

JSPO-AT を目指している人は、入学当初から計画的に履修をしている人が多い印象です。というのも健康運動指導士と合わせて単位取得を目指す人が多く、共通する科目に実習科目も少なくないことから、特に2年時からの計画的な単位取得が大切だと思います。また3年時のスポーツ現場実習 A/B の履修自体が JSPO-AT 受験に直結しますので、しっかり自身の将来を見据えて履修計画を立ててほしいと思います。

## 2 健康運動指導士

健康運動指導士受験資格取得に必要な科目は以下のとおりです。

※「スポーツ医学 B」「スポーツ医科学実習」の単位を修得していなくても健康運動士認定試験は受験可能ですが、健康運動指導士になるために必要な知識を習得できるため、単位修得を強く勧めます

科目名	単位	配当年次	推奨履修年次
機能解剖学 A	2	1	1 年次
スポーツ心理学 A	2	1	1 年次
生理学	2	1	1 年次
ヘルスデザイン論	2	1	1 年次
運動生理学概論	2	2	2 年次
予防医学概論	2	2~4	2 年次
スポーツ栄養学	2	2~4	2 年次
体力測定・評価論	2	2~4	2 年次
スポーツリスクマネジメント	2	2~4	3 年次
スポーツバイオメカニクス	2	2~4	2 年次
ジョギング・ウォーキング実習	1	2~4	3 年次
フィットネス・トレーニング実習	1	2~4	3 年次
エアロビック運動実習	1	2~4	2 年次
スイミング実習	1	2~4	3 年次
体力測定・評価実習	1	2~4	2 年次
スポーツ医学 A	2	3~4	2 年次
スポーツ医学 B	2	3~4	3 年次
運動処方・負荷テスト	2	3~4	3 年次
生活習慣病と身体活動	2	3~4	3 年次
健康増進施設実習 *	2	3~4	4 年次
運動負荷テスト実習	1	3~4	3 年次
スポーツ医科学実習	1	3~4	3 年次

### 教員からのアドバイス

認定試験は、「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下巻)」の内容から出題されるため、本テキストを購入して、各科目で指定された教科書とともに学習するのが合格への近道である。

### 3 トレーニング指導者

トレーニング指導者受験資格取得に必要な科目は以下のとおりです。

科目名	単位	配当年次	推奨履修年次
スポーツ健康学入門	2	1	1年次
生理学	2	1	1年次
機能解剖学 A	2	1	1年次
ヘルスデザイン論	2	1	1年次
スポーツ心理学 A	2	1	1年次
スポーツコーチング論 A	2	1	1年次
スポーツトレーニング論 I	2	1~4	1年次
運動生理学概論	2	2	2年次
スポーツマネジメント論	2	2	2年次
スポーツ運動学	2	2~4	2年次
予防医学概論	2	2~4	2年次
スポーツバイオメカニクス	2	2~4	2年次
スポーツ栄養学	2	2~4	2年次
体力測定・評価論	2	2~4	3年次
フィットネス・トレーニング実習	1	2~4	3年次
アスレティックリハビリテーション I	2	3~4	3年次

#### 教員からのアドバイス

JATI のトレーニング指導者は、パーソナルトレーナーやストレングスコーチを目指す学生にとって有益な資格です。専門基礎科目や専門基幹科目に含まれる科目が多く、他の資格とも被っている科目も多いので、1年時から計画的に単位取得することで、3年秋学期に資格取得することも可能です。

#### 4 教員免許

教員免許取得に必要な科目は以下のとおりです。

科目名		単位	配当年次	推奨履修年次
法学（日本国憲法）		2	1～4	1年次
スポーツ実習入門		1	1	1年次
スポーツコーチング論 A		2	1	1年次
いずれか1つを（a）（b）セットで履修	総合英語Ⅰ（a）/（b）	各1	1	1年次
	総合英語Ⅱ（a）/（b）	各1	1	1年次
	総合英語Ⅲ（a）/（b）	各1	2	
	総合英語Ⅳ（a）/（b）	各1	2	
	英語コミュニケーションⅠ（a）/（b）	各1	1～4	2年次
	英語コミュニケーションⅡ（a）/（b）	各1	2～4	2年次
2単位必修	情報リテラシーⅠ	2	1～4	1年次
	情報リテラシーⅡ	2	1～4	
保健体育科教育法Ⅰ		2	2～4	2年次
保健体育科教育法Ⅱ		2	2～4	2年次
保健体育科教育法Ⅲ		2	3～4	3年次
保健体育科教育法Ⅳ		2	3～4	3年次
教育原理		2	1～4	1年次 or 2年次
教職入門		2	1～4	1年次 or 2年次
教育の制度・経営		2	1～4	1年次 or 2年次
教育心理学		2	1～4	1年次 or 2年次
特別な教育的ニーズの理解と支援		2	1～4	1年次
教育課程論		2	2～4	2年次
道徳教育指導論（中学のみ）		2	2～4	2年次
総合的な学習の時間の指導法		2	2～4	2年次 or 3年次
特別活動論		2	2～4	2年次 or 3年次
教育方法論		2	2～4	2年次 or 3年次
生徒・進路指導論		2	2～4	2年次
教育相談		2	1～4	1年次 or 2年次
教育実習（事前指導）		合	3～4	3年次
教育実習（高）/（中・高）	} セットで 単位認定	3/5	4	4年次
教職実践演習（中・高）		2	4	4年次
体づくり運動指導論演習		2	2～4	2年次 or 3年次
器械運動指導論演習		2	2～4	2年次 or 3年次
陸上競技指導論演習		2	2～4	2年次 or 3年次
スイミング指導論演習		2	2～4	2年次 or 3年次
ソフトボール指導論演習		2	2～4	2年次 or 3年次
柔道指導論演習		2	1～4	1年次 or 2年次

科目名		単位	配当年次	推奨履修年次
剣道指導論演習		2	1～4	1年次 or 2年次
ダンス指導論演習		2	1～4	1年次 or 2年次
2 単位 必修	テニス指導論演習	2	2～4	2年次 or 3年次 ※不得手を選択
	バドミントン指導論演習	2	2～4	
	バレーボール指導論演習	2	2～4	
2 単位 必修	サッカー指導論演習	2	2～4	2年次 or 3年次 ※不得手を選択
	バスケットボール指導論演習	2	2～4	
	ハンドボール指導論演習	2	2～4	
スポーツ運動学		2	2～4	2年次
スポーツ哲学		2	1	1年次
スポーツ心理学A		2	1	1年次
スポーツ社会学		2	1	1年次
スポーツ史		2	1	1年次
スポーツマネジメント論		2	1	2年次
運動生理学概論		2	2	2年次
衛生学		2	1～4	1年次
公衆衛生学		2	2～4	2年次
学校保健		2	2～4	2年次

※英語は8単位（卒業要件）を履修すること。教職は2単位のみ。ERP（英語強化プログラム）からの教職単位転用は不可。

#### 教員からのアドバイス

- ・1・2年生で積極的に教職科目を前倒しで履修する。
- ・3・4年生で教育実習および教員採用試験準備をすすめる。
- ・ネット型2単位（テニス・バドミントン・バレー）とゴール型2単位（サッカー・バスケットボール・ハンドボール）の選択は、できるだけ経験値の少ない種目から選択する。
- ・1年次に可能な限りの教職科目を履修する。2・3年次にバランスよく実技科目を配置する。
- ・保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ（2年次）、Ⅲ・Ⅳ（3年次）の習得は、4年次で教育実習に出かけるために必須となる。